

**つながる**

社会的養護の社会化フォーラムを通して、松阪地域にも子どもに関わる活動をしている団体はたくさんあることがわかりました。各団体がつながり合えるように、このコーナーで紹介させていただきます！

**Vol.4 特定非営利活動法人 i sierra**





理事長の太田寛さんは、2000年に飯高に移住し、2018年2月に地域の有志と「NPO法人i sierra(アイシエラ)」を立ち上げました。県職員だった太田さんは、子どもが生まれたときに育児休暇を2年間取りました。育児休暇中にお母さんたちを中心に地域とのかかわりが深くなり、飯高の自然のすばらしさにも改めて気づくことができたそうです。そして、地域の過疎化を何とか止めたい、地域の人もそうでない人もこの素晴らしい自然を体験してもらいたいと、活動を始めました。香肌峡でのアクティビティとしてカヌー体験や、トレッキング、登山、サイクリングなど自然を満喫できるプログラムがあります。自然体験は子どもの育ちにとっても大切なことだと思います。自分の住む地域を知るきっかけになったり、交流の場になったりして、地域おこしにつながっていくことも、子ども支援につながると感じました。太田さんが、活動を続けていくうえで人との繋がりをとても大切にされていることが伝わってきて、この活動がますます広がっていくといいと思います。

**おしらせ**  
まつさかファミリーサポートセンター  
2019年度交流会  
「子どもにとっての、ネット・ゲームのホントの問題」

日程 2019年9月1日(日)  
14:00~16:30  
場所 松阪市産業振興センターカリヨン別館  
講師 NPO法人アガバ・バ関西事務所代表 北崎圭太さん

**●チャイルドラインMIE** (きいてほしいな...)  
子どもの心を受け止める  
18歳までの子ども専用電話  
**0120-99-7777**  
毎週 月曜日~日曜日  
午後4:00~午後9:00

**●こどもほっとダイヤル** (助けて!も言える)  
子どもだけが相談できる  
18歳未満の子どものための相談電話  
**0800-200-2555**  
毎日 午後1:00~午後9:00  
(12月29日~1月3日はお休み)



**●この会に賛同し、会を支えてくださる個人・団体の方を募集しています●**  
個人正会員・参加会員：年8,400円 賛助団体会員：年10,000円 支援会員：年10,000円  
※入会金：300円

会員数 正会員：21名 参加会員：3名 支援会員：83名 賛助団体会員：26団体 (7月15日現在)  
特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター  
〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ1F (開所日・時間 月~金 10:00~17:00)  
TEL 0598-20-8344 FAX 0598-20-8345 ホームページ <http://www.mknpo.jp/> eメール [info@mknpo.jp](mailto:info@mknpo.jp)

【賛助団体会員】 (敬称略)	・医療法人 河合産婦人科	・鎮守の森を夢見る会・その二	・株式会社 富士土地
・医療法人 イワサ小児科	・医療法人 桜木記念病院	・東海印刷株式会社	・松阪市健康体操連絡協議会
・うれしの 太田クリニック	・株式会社 阪本事務機	・東海シール株式会社	・まんのう整形外科
・株式会社 SK スズキ	・ささおこどもクリニック	・飛岡雅子	・医療法人 南産婦人科
・大久保クリニック	・株式会社 ジェントリー	・ナガフシ産業有限会社	・医療法人社団 鷺尾小児科
・おおたクリニック	・上瀬クリニック	・はせがわこどもクリニック	・他一団体
・岡田パッケージ株式会社	・医療法人 地主矯正歯科クリニック	・健康体操 ひまわり会	

**K O D O M O 21** Summer NO.205  
2019年 8月 1日  
発行元：特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター

子どもたちがのびやかで豊かな「子ども時代」をすごすために

**松阪撫子どんな花?祭り**

日時 5月25日(土) 10:00~15:00  
場所 岡寺山継松寺

今年度もミズ・ネットワーク松阪さんにお声をかけて頂いて、岡寺山継松寺の境内で当センターの広報とチャイルドラインのファンド活動を行いました。ミズ・ネットワーク松阪とは商店街のおかみさん達が町の元気の元になりたい!という思いで活動されています。当日、境内には身体に優しい食材を扱っているお店やこだわりのお店など10店舗ほどが出店していました。この日は気温が高かったのですが、くるくるレインボーは子ども達に大人気でくるくる回してにぎやかしてくれました。今年もご近所の方が施設のお年寄りへのプレゼント用に沢山買って頂いて嬉しく思いました。地域とのつながりが改めて大切だと感じる一日でした。



**集団託児事業**

当センターでは、学校のPTA総会、PTAや各市町教育委員会主催の講演会・映画会、商工会議所のビジネスセミナー、事業所の会議等、多様な場面でお子さんの集団託児をしています。11年前、「小学校のPTA総会で託児をしてほしい」という依頼をいただいたのが最初でした。子どもを連れての参加は親も気になり、子どもにとっても窮屈なことが多いため、大人はその時間を十分楽しみ、勉強してもらえよう、子どもも思い切り遊べるよう、そして終わってお迎えの時は、どちらも笑顔で会えるように心がけ、お子さんを預かっています。平均3時間程の預かりですが、「子どもが主体」ということを大切に、託児をしています。安全な場所を保つことは大前提ですが、子どもがどうしたいのか、どう感じているのかを大切に、サポーターは見守り寄り添います。年齢の幅も様々ですが、発育に応じた遊びをとおして関わっています。年々依頼していただく先も少しずつ広がってきています。子育て支援の現場として、今後もよりよい支援をしていきたいと思ひます。



# 産後に必要な支援とは ～ママと赤ちゃんを支える～



## 今の子育て事情

子ども支援、子育て支援の様々な事業をしている中で、いい親にならねばと一人でがんばっていたり、しんどいけれど「助けて」が言えなかったり、誰も頼る人がいない親の姿が見られます。自分の経験からも、子どもを産んだからと言ってすぐ親になれるわけではありません。しかし、周りの人々は無意識に子どもを抱いている人はすでに親だと思ひ込み、無神経にもそんなこともできないで…的な視線を送っていないでしょうか。昔のように親戚やご近所に赤ちゃんがいて、なんとなく赤ちゃんはこういうものだということがわかっている時代ではなく、はじめて抱っこする赤ちゃんが自分の子どもだということもめずらしくありません。わからない、知らないことは知っていくしかないのですが、その過程を周りの人々はどれくらいあたたかく見守り、子育て中のママパパに寄り添えるでしょうか。

## 産後の時期のママたちの声

赤ちゃんが泣いていてあやしたいけど、上の子の世話をしなきゃいけないで赤ちゃんを泣かせっぱなしにしてしまった。

一人で沐浴をすることや、お風呂に入れるときがとにかく大変だった。

自分が体調を崩したときも、無理をして家事も育児もしなくてはいけなかった。

県外から嫁いできたため、知り合いのいない中での慣れない育児で引きこもって、育児ノイローゼになりかけていた。赤ちゃんが何で泣いているのかわからなくて、一緒に泣いていた。

洗濯を干す間や、買い物、ちょっと外の掃除をしたい時など、誰かに少しだけ見ていて欲しいと思った。

授乳の間隔が短くて、ほとんど眠れなかった。

気軽に相談できる人が周りにいなかった。集まりみたいなのは、初めましての人ばかりでかえって疲れてしまうので引きこもりになっていた。

育児を頑張ってきたママたちの声を聞きながら、自分自身の子育て中のことも思い出しました。うちの子もお風呂の入れ方は悩みました。あの手、この手で乗り切ったな～とか、初めての育児、いろいろと悩み、戸惑いながらも、赤ちゃんと一緒に自分自身もママとして成長をしていったと思います。今は、スマホの普及で情報に溢れた世の中、それが余計にママを苦しめているような気がします。

子育てを、「うんうん！わかる！」って共感してくれる人の存在、子どもの成長をみんなで楽しんでいける仲間の存在が大事だと思います。身近に気軽に相談ができる相手があると、心配しなくてもいいことって沢山あるのかなって思います。そんな存在の人が地域の中にいると、安心して子育てができるのではないのでしょうか。

## 地域の中での支援を考える

当センターではファミリーサポート事業として、首がすわる生後おおむね4ヶ月からの預かり支援をしています。しかし、出産後4ヶ月までの支援も必要で、この時期をうまく乗り越えることができると、その後の子育てもスムーズに行くのではないかと思います。頼る人がなく若い世帯だけで子育てしている人はもちろん、親世帯が近くにいっても、思うように支援が受けられず、しんどい思いをしている人はたくさんいます。特にこの時期、女性はホルモンのバランスが崩れ、不安感が増えて急に涙が出たり、子どもをかわいいと思えなかったりします。そして、そういう自分を責めてしまうよけいにしんどくなってしまいます。そんな時、地域の人がお手伝いをする、「産後サポート事業」はこれからの子育てには不可欠なものだと思います。このサポートで少しでも「こうでなければ」と思い込まず、「こういうのもあり」と思えたら、子育てが楽にできるひとつのきっかけになり、親子の幸せにつながっていくと考えます。

## 新しい支援として 「産後サポート事業」をはじめます

出産後 4 ヶ月以内のお母さんと赤ちゃんのお世話と軽い家事のお手伝いをします

内 容：家庭に出向き、1日2～3時間程度、沐浴準備や後片付け、家事手伝いなどをします。

利用時間：8：30～19：00

利用料金：1,200円/時間（消費税別）

交通費：30円/km（実費）

開 始：2019年10月1日より

お問合せ：（特）松阪子どもNPOセンター

産後サポート 0598-20-8344

